

バンジョー&ソウザ『認識的正当化』上枝美典訳、書評

評者 伊勢田哲治(いせだてつじ、名古屋大学助教授、科学哲学・倫理学)

本書は最新の英米の認識論の本である。しかし認識論とは何だろうか。それを知ってもらうには思考実験をしてもらうのが早い。

思考実験その一。たとえばあなたが昨日頭をうった拍子に百発百中の千里眼能力を身につけていた(しかしあなたはそのことを知らない)としよう。そのあなたの頭の中に、(自分ではそれと知らずに千里眼能力を使って)中学生時代の同級生美紀ちゃんが今おでんを食べているというイメージが浮かび、あなたはそれが正しいと信じた(そして本当に正しかった)とする。さて、あなたは「美紀ちゃんが今おでんを食べている」と知っているといえるのだろうか。

思考実験その二。たとえば今あなたの目のまえにヒョウがいて、正確にはっきりと52個の黒い斑点があなたの視野に収まっていたとしよう。あなたはそのヒョウの斑点をちゃんと数えなかったが、なんとなく52個ある気がして「今わたしには52個の斑点が見えている」と信じたとしよう。これは知識といえるだろうか。

今の二つの事例に共通する前提は、ある人が何かを「知っている」といえるためにはその人が信じていること(これを哲学業界用語で「信念」とよぶ)が正しいということに加えて何か(これがタイトルにいう「認識的正当化」である)が必要なのではないかということであり、どちらの思考実験も、「あなた」の信念が認識的に正当化されているかどうかを判断してもらう構造になっている。

現代英米の認識論では、こうした思考実験を使って、認識的正当化の内容はどうあるべきかについて論を戦わせ、膨大な文献が蓄積されてきた。しかしそうした論争の具体的内容について知りたい人が日本語で読める文献は少なかった。思いつくのは同じ訳者によるチザム『知識の理論』の翻訳と戸田山和久の入門書『知識の哲学』くらいなものである。その意味で、本書のような翻訳が原書出版以来三年という短時日で登場したことは大変意義深いことであると思う。訳者はこうした議論の本場で研鑽をつんできた気鋭の哲学者であり、翻訳のクオリティの面でも安心して読むことができる。著者二人の名前についてもこれまで「ボンジャー」「ソーサ」と表記されることが多かったが、実際の発音に近くという訳者の配慮によってこの表記になったようである。

本書の原著者バンジョーとソウザは、どちらも現代英米認識論を代表する論者である。二人の立場を紹介することは与えられたスペースの中では難しいが、簡単に言うとバンジョーはもともと「整合主義」の代表的論客でありながら本書で「基礎付け主義」への転向を表明したが、一貫して「外在主義」を批判している(冒頭の思考実験その一は外在主義を批判する際にバンジョーが愛用する例を改変したものである)。ソウザは逆に「外在主義」の支持者で、ある種の「基礎付け主義」に対する巧妙な反論で知られる(思考実験その二のような例がここで力を発揮する)。つまり、「基礎付け主義」「整合主義」「外在主義」の三つの派閥があって対立抗争しているというのが本書のおおまかな枠組みである。歴史好きの方なら三国志の魏・蜀・呉の鼎立みたいなものを思い浮かべていただいてもいいかもしれない。そうするとバンジョーはさしずめ呉から蜀へと渡り歩きつつ魏と戦っている武将といったところであろうか(そんな武将がいたかどうか記憶にないが)。

本書の読みどころは多い。バンジョーについては、なぜ基礎付け主義へ転向したのか、また、彼のタイプの基礎付け主義のネックとなる「所与の神話」論(残念ながらこれを解説するスペースはないが)にどう立ち向かうのか、というあたりが読みどころであり、ソウザについては、近年ソウザ自身らによって展開されてきた「徳認識論」(外在主義の一種で、信念が「知的徳」すなわち信頼できる思考パターンによって生み出されていることが大事だという立場)という新しい立場が体系的に展開されているあたりが読みどころである。また、バンジョーとソウザはお互いの書いた部分への批判にそれぞれ一章を割いており、生々しい論争に触れることができる構成となっている点もいい。

ただ、注意しておく必要があると思うが、本書は入門書ではない。論争の枠組みについての最低限の解説は両者によってなされているが、あとは手加減なく微妙な論点にぐいぐいと分け入って行く。すでに認識論についてかなりの予備知識を持っているというのでないなら、最低限、右にあげたチザムや戸田山の本でウォーミングアップをしてから取りかかれることをお薦めする。しかし、きちんと準備をして臨まれるなら、本書はかならずや現代英米認識論のめくるめく世界(?)をあなたの前にひらいてくれるはずである。(という書評を読んであなたが本書がそういう本だと信じたとしたらその信念は正当化されるだろうか?)